

## 目的・内容

**目的**：令和6年12月6日（金）、国土交通省港湾局が策定・発表した「港湾労働者不足対策アクションプラン」の取り組みとして、「港の仕事を知ってもらう」を目的に、みなとで活躍する港湾運送若手職員の方々と運輸局職員との懇談会を開催しました。

**開催内容**：港湾運送では取り扱う貨物ごとに様々な作業があり、それぞれの担当職員が自身の作業を的確に行うことにより船と陸をつなぐ港湾物流を支えています。今回はそれぞれ異なる港湾作業に従事する6名の若手職員の方々にご参加いただき、様々な視点や観点から、これまでの業務経験、港湾の仕事に就職したきっかけ、港湾の仕事の魅力ややりがい等を語っていただき、学生や就職活動中の方々に港湾の仕事を知ってもらうためのメッセージ等コメントをいただきました。

また、参加いただいた若手職員6名の実際の港湾作業風景を事前に撮影しており、本懇談会の場で作業風景動画を視聴しました。  
 ※作業風景動画は一般の方への「港湾運送とは？」という疑問に対応できるものとなっており、近日、YouTube、SNS等にアップする予定です。

## 次第



令和6年12月6日 14:00  
 横浜第二合同庁舎共用第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 参加者自己紹介
4. 港湾作業別動画視聴
5. テーマ別意見交換
  - ① 港湾の職場に就職したきっかけや理由
  - ② 港湾の仕事に就いてから、港湾に対するイメージが変わった点
  - ③ 港湾の仕事の魅力ややりがい
  - ④ 港湾の仕事をして良かったこと
  - ⑤ 他の港湾作業との連携に関する課題や意見、働きやすく、働きがいのある職場への取組の提案



## 参加者・協力

- 参加者**
- 【横浜港】
- 藤木企業株式会社 横浜港運事業部 福島 健太 様
  - 藤木企業株式会社 コンテナ事業部 田村 正光 様
- 【東京港】
- 株式会社タイトーコーポレーション 運航統括課 井上 朋紀 様
  - 東海海運株式会社 船内課 大森 凌二 様
- 【千葉港】
- 東海海運株式会社 千葉支店船内班 石井 伸和 様
  - 東海海運株式会社 千葉支店船内班 緒方 勝 様
- 【国土交通省職員】
- 国土交通省 関東運輸局 海事振興部 港運課 森田 理紗子 様
- <司会進行>
- 国土交通省 関東運輸局 海事振興部 港運課 秋田 文仁 様

- 協力**
- 藤木企業株式会社
  - 株式会社タイトーコーポレーション
  - 東海海運株式会社
  - 横浜港運協会
  - 一般社団法人東京港運協会
  - 千葉港運協会
  - 関東地方整備局港湾空港部 仕事猫



©くまみね

## 懇談会の様子



前列左より 大森さん、石井さん、緒方さん、森田さん、井上さん、福島さん、田村さん、森田さん  
 後列左より 井上さん、福島さん、田村さん、森田さん

## 主な意見要旨

### <① 港湾の職場に就職したきっかけや理由>

- 安定した職業を探していたところ、知人が港湾で働いていて、仕事は厳しいが良い環境だと聞き、興味を持ったことから知人に紹介してもらい就職した。
- 将来を見据え、安定した職業への転職を考えた時、兄から港湾の仕事を紹介され、まったく知らない業種だったが興味を持ったのがきっかけ。
- 横浜出身で、港が身近にある環境で育った。また、大学で英語を専攻していたこともあり、国際物流に興味を持ち、就職活動・業界研究を深める中で、フォアマンという職種に出会い、コンテナターミナルでの仕事、フォアマン業務の壮さに魅了され就職した。
- 祖父、父が港湾の会社に勤めており、父親の紹介で就職した。家にあった港運の仕事紹介DVDを視聴したことも記憶にある。
- 高校での就職活動中に、卒業生で就職した先輩がいたこともあり、先生から勧められた。

### <② 港湾の仕事に就いてから、港湾に対するイメージが変わった点>

- 輸入、検品、保管など日々使用する物の流過程程において沢山の人が関わっていた事。自分の扱った品物がスーパーで売られていた際、家族に自分の扱った品物であることを伝えられ誇らしかった。
- 入社するまで、港湾という言葉聞いた事がなかったが、入社後は国内に物が流通するには欠かせない仕事だと感じている。
- 荷役機械が大型で、扱っている鋼材の重量がこんなに重いと実感した。
- 入社してからは、他の港ではどんな仕事をしているのか興味を持つようになった。
- 日本の貿易のほとんどが船で運ばれている事を知り、社会的に重要な職種だと考えが変わった。
- 最初はどんな仕事かも分からなかったが、日本国内だけでなく世界と繋がっていてスケールの大きい仕事だと感じた。
- 入社までは、港湾というと肉體労働というイメージを持っていたが、実際は、ガントリークレーン、RTG等の荷役機器を使用する作業が主であり、荷役機器もTOS（ターミナルオペレーションシステム）を利用して作業するなどIT化されている点に驚いた。
- 普段見かけることの無い様々な大型の荷役機械があることに驚いた。

### <③ 港湾の仕事の魅力ややりがい>

- チームで一つの仕事を終了したときの達成感。
- 一人で行える仕事ではないので、みんなで一丸となって一つの作業を行うところ。
- 資格や免許を取得すれば、いろいろな機械の操縦もでき、仕事の幅が広がる点。
- 大きな機械を操作して貨物を扱うので緊張感はあるが、無事に作業を終えた時の達成感。
- 色々な作業があるので、毎日が新鮮。
- 大型フォークリフトの運転をしていると難易度の高い仕事をしていると実感出来る場所。
- 扱う貨物が同じだったとしても、作業メンバー・船型・天候等で日々作業環境が変わるのでマンネリ化せず新鮮味がある点。
- 自分が作成した荷役プランにより作業指示を出し、最大100名程の人が動く点に大きな責任とやりがいを感じる。その分、責任、重圧は重くのしかかるが、100名全員で協力し作業を完遂した時は大きな達成感を味わうことができる。

### <④ 港湾の仕事をして良かったこと>

- 乗り物に興味があり運転が好きだったので、大型フォークリフトやホイールローダーなどを運転出来た事。
- 作業中は安全確保のため常に周囲を気にしているため、広い視野を持てるようになった。
- 協力会社には両親と同年代の作業員の方もいれば、本船クルーには様々な国籍の方がいて、様々な人と一緒に仕事をすることができる為、日々新鮮な気持ちで業務を行うことができる。
- 自分で動かした貨物が国内外の必要としている人の元へと届く物流の一端を担えていること。
- グループにはいろいろな年代の方がいるので、コミュニケーション能力が上がる点
- 物流の仕組みを知る事ができた。日常生活で自分が携わった品物を見つけたときに喜びややりがいを感じる。
- 様々な種類の資格を取得して、クレーンの運転員になれたこと。
- 仕事をするまで知らなかった色々な資格を取らせてもらえる事、その資格を訓練しスキルアップが出来るところ。

### <⑤ 他の港湾作業との連携に関する課題や意見、働きやすく、働きがいのある職場への取組の提案>

- 一人で出来る仕事では無いので仲間とのコミュニケーションを大事にすることが必要。
- 他の港湾荷役業者と、作業方法・作業手順等の交流をしてみたい。
- 若手の入社が減っていて自分もそうだったが港湾について知らない、またはネガティブなイメージを持っている人へのアピールが必要。

皆さんの入職を待ってます！



## 運輸局のコメント

今回の懇談会では参加していただいた若手職員の方に沢山のご意見をうかがえました。懇談会で頂いたご意見は、学校訪問など港湾運送事業の認知度向上のために役立てていきます。また、今回の懇談会に連携して3本の動画を制作しました。YouTubeやSNSにアップする予定ですので、学生さんや就職を検討している人、また大型機械に興味のある方などは是非ご覧ください。

- ① 港湾作業別動画
- ② 先輩からのメッセージ動画
- ③ 懇談会全編